

---

◎議案第60号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（藤井 要君） 日程第12、議案第60号 令和元年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（長嶋精一君） 議案第60号 令和元年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について。

詳細は担当から説明いたします。

（健康福祉課長 新田徳彦君 提案理由説明）

○議長（藤井 要君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

○6番（渡辺文彦君） 9ページの特別調整交付金というのが、ちょっと良く分からないんですけども、これは町が努力したことに対する報奨金みたいな話しなただけで、これは対応の仕方によってはもっと増えるってことがあるのかどうか、その辺も含めて確認したいんですけど。

○健康福祉課長（新田徳彦君） 9ページの特別調整交付金についてご質問がありました。県からの交付金につきましては、普通調整交付金と特別調整交付金と2つございます。

この内、特別調整交付金につきましては、保健事業・予防や健康づくり何かの保健事業何かをやっているところに対しまして、国が県を通して交付金をくれるということで、要は保険者の方で、こういった健康事業に取り組んでますよってことに対して、国の方で松崎町さん頑張ってるから、これだけのお金を追加で差し上げますよということでございます。

ちなみの、当初予算でもこの特別調整交付金ってのがあったんですけども、こちらは特別調整交付金は努力支援者の関係も一部入っております、当初分については保険者努力支援分の関係で、一部、特別調整交付金でも面倒みてくれますよということ、当初予算で見込んだんですが、今回のものにつきましては特定健診の未受診者対策ですね、電話やはがき何かでの受診勧奨ですとか、生活習慣病の重症化対策ということで、例えば隣の西伊豆町さんと糖尿病等の重症化予防なんかの取り組みもやっております。そういったような健康事業の関係、重症化予防の取り組みをやっているからということで、国の方か

ら県を通して交付金を特別にいただけるというような性格のものでございます。

○6番（渡辺文彦君） 内容は確認できたわけですが、努力によってこの金額が変わるかどうかも追加でお話しいただければいいんですけれども、歳出の14ページ、予備費が補正で6,000千円ほど上がってるわけですが、今後の医療費の増加にという話だったわけですが、どんなふうな動向になっているのか、その辺ちょっと確認したいんです。

○健康福祉課長（新田徳彦君） 30年に財政改革によりまして、県との共同化ということで、ある程度、財政的な懐が大きくなったわけですが、県に納付金を納めなければならぬわけですが、1千万円クラスの大きな手術、大きな医療費がかかるものがぼんぼん続いたりしますと、急に納付金なんかも払えなくなる可能性も無きにしもあらずなものですので、最初、基金に積むこともどうかと考えたわけですが、昨年も予備費に追加したこともありますけれども、今回も同様に予備費の方にとりあえずは増額をさせていただきまして、もし足らなくなった場合は予備費から充用というような形で対応をしてみたいと思います。

ちなみに高額療養費につきましては、現時点で昨年と比べて102パーセントの増となっているところですが、高額療養費なんかも若干上がってきたりしているものですので、今後の医療費対応ということで、今回、予備費の方を増額させてもらったということでご理解いただきたいと思います。

○議長（藤井 要君） 他に質疑はございませんか。

質疑がないようでありますので、質疑を終結したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（藤井 要君） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（藤井 要君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を認めます。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（藤井 要君） 賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終了します。

これより議案第60号 令和元年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についての件を挙手により採決します。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長（藤井 要君） 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

---